

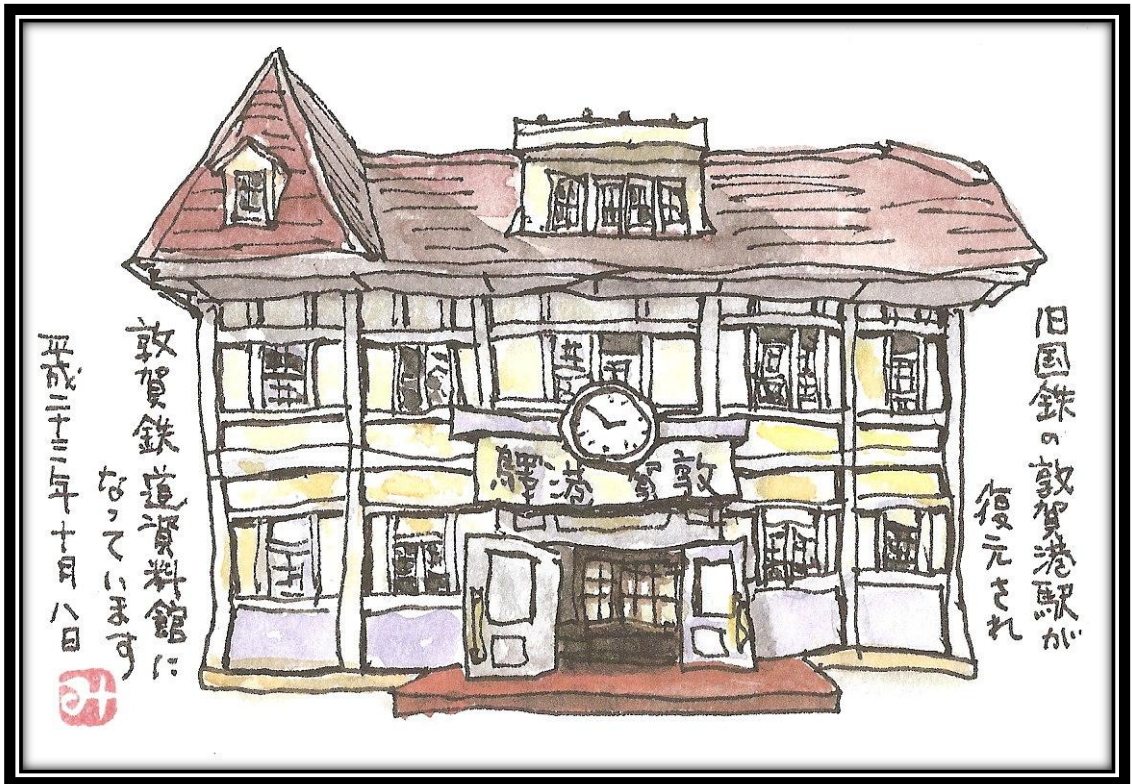
# 響

ひびき

真宗大谷派 道誠寺報

No.32

2011年11月19日 発行



絵 百田 稔さん

行事のお知らせ(12月、1月)

行事の報告(9月、10月)

法語



今、いのちがあなたを生きている

真のよりどころを  
求めて

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

12 月

行事のお知らせ

8日  
(木)

- ・ おみがき会
- ・ 14時～ 仏具をおみがきします

28日  
(水)

- ・ ほう おん こう 報恩講 ※10頁参照
- ・ 宗祖親鸞聖人750回御遠忌
- ・ 14時～
- ・ 講師：中津 功師 親鸞仏教センター囑託

報恩講の後、17時より「ほうねんかい望年会」を企画しています。

会場：海鮮ダイニング KOHADA っ子

道誠寺より徒歩 10分ほど

会費：3,000円

参加希望の方は、12月8日までにお寺までお電話下さい。

# 1 月

12日  
(木)

- ・ しゅうしやうえ 修正会
- ・ 14時～

※11頁参照

26日  
(木)

- ・ 書道教室 写経
- ・ 15時～ 青山 美智子 師
- ・ 同朋会 どうほうかい
- ・ 17時～ 高田 昌磨 師

三条教区本空寺 衆徒

上記の行事はすべて会費  
ありません。

「二木会」は門徒さんの親  
睦を深める楽しい会です。  
初めての方でもお気軽に♪

「同朋会」は『正信偈』を  
皆でお勤めした後、真宗の  
教えに遇う大切な場です。

電車を御利用の方は、市  
川大野駅まで車で送迎致し  
ますので、お寺に電話御願  
い致します。

(TEL 047-3337-5305)



# 行事の報告

9月

22日(木)

「写経」「同朋会」

※「書道教室」はお休みでした。

写経 参加者

※ホームページ上では

公表しません。五名参加

本堂で  
正信偈と阿弥陀経を  
写経しています♪



同朋会 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十五名参加

講師 小林尚樹

今月は、「正信偈」の

のうほ いちねん きあいしん

能発一念喜愛心

ふだん ぼんのう とくねはん

不断煩惱得涅槃

ぼんしょうぎやくほうさいえにゆう

凡聖逆謗斉回入

によしゆうしにゆう かいいちみ

如衆水入海一味

の「依経分」の部分でした。

ここは、弥陀の本願を受  
け取り、<sup>うなず</sup>領いて、その本願に  
よつて生きていこうと、決意  
するところです。つまり南無  
阿弥陀仏の念仏を喜ぶ信心  
を顕わしています。

信心とは「喜愛心」、喜ぶ  
心なのです。

「喜愛」とは、仏さまの無  
条件の愛であり、無条件に  
喜ぶ心なのです。私たちが  
使う愛という言葉は、仏教  
から言えば煩惱<sup>ぼんのう</sup>です。執着<sup>しゆくちやく</sup>  
する心です。

また親鸞聖人は「発<sup>ほつ</sup>」とい

う字を独特の意味で使われます。「発」には「おこす」という意味がありますが、「私自身で」おこすのではなくて、「仏さまの方から」私におこして下さったんだという親鸞聖人独特の了解です。

本願を聞いて領いたところに、私の身の上に、喜ぶ心がおこったのです。それは自分で思いおこそうとしたものではなくありません。私の分別心、執着を超えたものなので、それが親鸞聖人の言われる信心です。

信心の心がおこった時、煩惱を断つことなく、涅槃と同じ境地である「涅槃分」を得るのです。阿弥陀仏の本願が成就した浄土の世界では、煩惱を嫌わずに、煩惱のまま生きている私を捨てずに、涅槃、覚りの境地を与えられるのです。

この「不断煩惱得涅槃」は、親鸞聖人の教えの醍醐味です。

「凡聖逆謗齊回入」とは、凡夫も聖者も、五逆の罪を犯し、仏の教えを謗る者も

ひとしく信心をいただいて阿弥陀仏の本願に救われていくということを意味します。

それを喩えて言えば、多くの川の水が海に入れば、それは川の水とは言わず、海の水、一つの味となるのです。つまり、どんないのちを生きるものであっても、一つの世界に生まれることが出来るんだという、それが浄土の世界なのです。浄土は、阿弥陀仏の本願を信ずることによって開かれる世界なのです。

10月

9日(日)

「日曜法話会」

開教者会、玄中寺の衆徒である柳瀬 幸孝 師をお招きし、法話を聴聞しました。講題は「衆生の自覚」でした。



柳瀬 幸孝 師

参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十四名参加

講師 柳瀬幸孝

お経は、「によぜ如是我聞がもん」や「がもん我聞如是」という言葉から始まります。この言葉は「このように聞きました」という意味で、仏さまの言葉、教えが私の身に届き、私の上に仏さまの心が湧きあがってきたということです。

「如是我聞」とは、仏さまがいた時代だけの言葉ではありません。

時を超えて、親鸞聖人は、法然上人に出遇って、教えをいただきました。ですから、師である法然上人のことを「よきひと」と言います。

法然上人と弟子である親鸞聖人との関係は、お釈迦さまと弟子である阿難あなんとの関係と同様です。この関係は、仏さまと仏さまがお互いに念じあう「ぶつぶつそうねん念佛相念」のよきな関係だと思えます。

講題にある「衆生しゆじやう」という

言葉は、一般的には「生きとし生けるもの」という意味があります。ありますが、教えに出会い、仏さまと仏さまがお互いに念じあう中に生まれてくる世界のことを顕わす言葉でもあります。

一切の生きとし生けるものはことごとく仏性ぶつじやうを有していることを意味する「一切衆生いっさいしゆじやう悉有じきゆう仏性ぶつじやう」という言葉があります。

これは、私という存在は、山川草木と共に生きている

衆生であると自覚させていた。ただ大切な言葉です。

山川草木と共に生きていく衆生であるということ。自覚せしめるのは、先に教えに出遇われ仏恩ぶつおんをいただく。たよきひとに出遇い、教えに出遇っていく「佛佛相念」の世界なのです。

一切衆生悉有いっさいしゆじやうじきゆう仏性ぶつじやう

仏性ぶつじやうはすなわち

これ如来にょらいなり。

13日(木)

「二木会」

参加者

※ホームページ上では

公表しません。

九名参加

市川真間駅近くの「サロンド・グランパ」で開催された百田稔さんの個展を観に行きました。

一人歩き旅の行く先々で描かれた絵を観ると和ませてくれました。(感想／川口加代子)

27日(木)

「書道教室」「写経」  
「同朋会」

書道 写経 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

七名参加

同朋会 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十四名参加

講師 脇山展彦

脇山 展彦 師より、「正信偈」の赤本をもとに、同朋会運動、和讃について、お話をいただきました。



これが  
赤本だよ♪



同朋会運動とは、真宗門徒の生活を見つめ直そうという願いのもと、昭和三十七年から始まった、私たち一人ひとりの私生活から見直す信仰運動です。

「同朋」とは、血を分けた親子兄弟のように、阿弥陀仏の教えを互いに大切にしてきたお仲間のことです。

親鸞聖人はこの言葉の前に「御」をつけ、「御同朋」、「御同行」というように大切に使われています。「同行」とは、同じ道を行く人の意味で、「同朋」と同意語です。

この同朋会運動から、同朋の皆で一緒に「正信偈」をお勤めして、お念仏をもうしていこうと、勤行集の赤本が広まりました。



「正信偈」の後は、「讚阿さんあ弥みだぶつ陀げ和わ讚さん」という和讚があります。

「和」とは、インド・中国から伝わったお経を「和語」であらわすことです。「讚」とは、ほめたたえるという意味を持った「讚嘆さんたん」です。

つまり「和讚」とは、阿弥陀仏の教えの徳をほめたたえた歌を意味します。

声に出して歌うと、言葉そのものが頭に入ります。

赤本のお勤めは、体が覚えるので、いつどんな場所

もお勤め出来るのです。

親鸞聖人は、阿弥陀仏の念仏の教えを、文字が読める読めない関係なく、老若男女分け隔てなく、多くの人達へ、伝えるために歌（正信偈・和讚）にしたのです。

### 三帖和讚さんじょうわさん

浄土和讚じょうどわさん

高僧和讚こうそうわさん

正像末和讚しょうざうまつわさん

### 御懇志

※ホームページ上では

公表しません。

敬称略

どうもありがとうございます

ございました。

ほう おん こう  
道誠寺「報恩講」2011.12.28

ごえんき  
宗祖親鸞聖人 750 回御遠忌法要

今年の道誠寺「報恩講」は「宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要」  
として厳修させていただきます。

報恩講とは、お念仏の教えに出遇った私たち真宗門徒が集い、  
宗祖親鸞聖人のご恩に報い、またご恩を報じていく場であります。

また御遠忌とは、50年ごとにお勤めされる宗祖親鸞聖人の回忌  
法要のことをいいます。

京都の本山の750回御遠忌法要に足を運ばなかった方や、また  
「お念仏、親鸞聖人って何なんだろう？」という問いをお持ちの方、  
どなたでもご参加下さい。

皆でお勤めし、南無阿弥陀仏のお念仏の教えに出会いましょう！

## 日程

13:00	受付	15:00	法話
14:00	開会	16:00	茶話会&ゲーム
14:15	勤行	16:30	閉会

正信偈 草四句目下

念仏讃 淘三

和讃 弥陀大悲ノ誓願ヲ (次第六首)

回向 願以此功德

御俗姓

## 道誠寺「修正会」2012.01.12

2012年、道誠寺「修正会」が1月12日に開かれます。

修正会とは、正月の法要です。

修正とは、過ちをあらため、正しきを修めるということの意味します。

ですから、年のはじめに身を正し、思いを新たに、皆でお勤めし、南無阿弥陀仏のお念仏を称えることが生活の原点であることを確かめましょう！

### 日程

14:00 勤行

14:30 住職による挨拶・法話

15:00 お屠蘇で献杯、茶話会

## 千葉組「親鸞教室」のお知らせ

第3回

日程：1月17日(火)

会場：浄真寺(柏市)

第4回

日程：2月14日(火)

会場：即随寺(市川市)

興味のある方はどうぞご参加下さい。

詳しくはお寺まで問い合わせをお願いします。

# ◆敬弔

※ホームページ上では

公表しません。

生前のご功勞を偲び、念仏合掌して哀悼の意を表します。

# 法語

## 安心して

## 迷える道

親鸞は、「浄土」の功徳にふれるならば、苦悩の場に堂々ともどつて生きていく道を切り開いたのである。大切な自分の生きる場に帰っていく力をいただくのである。迷いがなくなるのではない。担っていく力をいただくのである。それは「安心して迷える道」である。

本多 雅人

# ☆編集後記☆

◆寒暖の差が激しい今の季節。衣替えたのに、日によっては暑く感じることも……。体がじょうずに環境の変化に適応してくれればいいのですが、自分の体さえ、なかなか自分の思い通りにならないものですね。

(釋光生)

## 編集

真宗大谷派 道誠寺

〒272-0804

千葉県市川市南大野 1-26-31

TEL: 047-337-5305

FAX: 047-337-5306

URL: <http://douzyouzi.com>

住職 市野 慈敬 (釋慈敬)

副住職 釋光生